

西合志中央小学校便り



校訓【 健康 工夫 協同 】 第6号
令和7年6月3日 文責：有内 弘

思い出に残る史上最高の運動会に感謝2

学校教育目標

「磨き（己）、高め（互）、
創造（皆）し合える児童の育成

上記の学校教育目標にあるように、目指すは「己を磨き、互いに高め合い、皆で創造し合える児童の姿です。

令和7年度 中央小運動会スローガン

心をひとつに
最後まで全力で楽しむ
史上最高の運動会

先月実施されました運動会では、目指す児童の姿をたくさん見ることができました。その中でも各団を率いてまとめていた応援団長（4人）には、よりその目指すべき姿がありました。今回4人の団長に自分の姿を振り返ってもらい、作文に書いてもらいました。では、紹介します。

「団長してよかったことと感じたこと」
6年1組 繢 将夢（赤団）

ぼくが赤団の団長をしてよかったことはスローガンにもあるとおり、赤団のみんなと最後まで全力で楽しむことができたことです。赤団のみんなと優勝を共に喜びたかったけれど一生忘れられない最高の思い出ができてよかったです。今までやってきた運動会の中で一番楽しくて、最高の運動会になりました。

次に団長をして感じたことは、自分が赤団を引っ張っていかないといけない責任の重さです。責任は重かったけれど、楽しみながら団長をしていると、緊張がうすれ、みんなをしっかり引っ張っていくことができました。本番では、緊張することなく楽しく団長をすることができます。

最後に、団長は楽しくすることが一番大事だと思います。来年こそは赤団全員で楽しみながら優勝を勝ち取ってほしいです。



赤団応援演舞

「小学校最後の運動会」
6年2組 中嶋 大翔（青団）

ぼくが団長になろうと思ったきっかけは、小学生最後の運動会で思い出をつくろうと思ったからです。だから団長に立候補しました。そして団長になることができました。青団みんなで優勝できるように決意しました。

初めての練習ではあまり声が出なくて、自分に納得のできない声でした。そこでお父さんに相談しました。そしたら

「深く息を吸って、おへその下に落とす気持ちで声を出したらいい。」
と言われました。すると、練習の時に声が出たような感じがしました。ある練習の時に声の大きさをほめられたからうれしかったです。

そして運動会当日に、前の日まで大車輪と青団コールをまちがえないように練習していましたけど、当日は人がいっぱいいて緊張してセリフがとんでもありました。冷や汗をかきました。でも副団長がフォローしてくれたおかげで、最後までやりきることができました。応援している中で、今までのことを思い出して目から汗が出てきました。

団長をさせてもらったおかげで、いつもとちがうことが経験できてよかったです。1年生から6年生まで青団のみんなと力を合わせてできたことがうれしかったです。自分にとって史上最高の運動会になりました。
<裏面へ>



青団応援演舞

「応援団長・1つの団としてのがんばり」
6年3組 合澤栄斗（白団）

ぼくは運動会でがんばったことが2つ、最後の運動会を通して思ったことが1つあります。

1つ目は応援演舞についてです。最初の練習は一人一人が自分のことに精一杯でした。でも練習を重ねていくうちに上手になりました。それはまぎれもなく、みんなの協力、先生たちのおかげです。一つ一つ手の指先まで、他にも細かい所までご指導してもらいました。

2つ目は団席での応援についてです。団席では、応援団を中心に他の学年の子たちに応援でのタイミングなどについて教えました。そして白団全体をまとめることをがんばりました。それにより他の団に負けない応援ができたと思います。

最後に小学生最後の運動会で思ったことがあります。6年生じゃなかった時の運動会は、負けても「あー負けちゃったな。でも次があるからいいや。」そう思っていたところがありました。でも今年は最後の運動会としてがんばりました。最後の運動会と違うじゃない運動会では気持ちが大きくなっていました。この気持ちの差は小さくとも、自分自身にとっては大きなことだと気づき、全力で取り組むことが大切だと学ぶことができました。これから小学生最後の行事がたくさんあります。だから、1個1個大事にして、運動会を通して学んだことを生かしていくよと思います。



白団応援演舞

「史上最高の運動会」
6年4組 石川梨江（緑団）

5月25日、6年生にとって最後の運動会は最高の1日になりました。

練習している中ですれちがいが起こったりすることもありました。でもその度に話し合いをして、お互いの意見を認め合いました。みんなこの運動会にかけている思いが強いなと感じて、自分もがんばろうと勇気をもらいました。最初の結団式の時は緑団の人たちと手拍子の練習や声出しの練習をしました。自分では大きい声を出しているつもりでも、後ろの5年生には届いていないと言われ、自分もそう感じました。その時はとてもくやしかったです。もともと自分は他の人より特別声が大きいというわけではないと考えてくじけそうになりました。でも副団長をはじめみんなが声を出してサポートしてくれて、本当に感謝しています。そして運動会本番。私は声がこれまで声を出してみんなと応援を続けました。1年生が特に声を出してくれて緑団みんなに伝わっていて元気をもらいました。最後のリレーでは6年生がいないのに、1~5年生の人が大きな声で応援してくれて自分はここにいてとても幸せだなと思いました。これまで休み、放課後などにがんばってきて本当によかったなと思いました。

この運動会を通じてみんなで団結することの大切さや、1人1人が努力して本気で全力でやることの意味を学びました。運動会にあたって支えてくれた仲間、先生、地域の皆様、すべての人に感謝しています。最後は優勝という形で運動会を終えることができ、本当に史上最高の運動会になりました。運動会の経験は、一生忘されることのできない私の宝物です。



緑団応援演舞

子どもたちは運動会を通して、大切な事をたくさん学びました。保護者の皆様、地域の皆様、1日延期になった中、あたたかく、たくさんの応援、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

今後とも学校・家庭・地域で共に育てる「共育」をどうぞよろしくお願ひします。